

こころをつなぐ まちづくり



人権シリーズ vol.158

8月は、「差別をなくす運動月間」です。

1965（昭和40）年8月、部落差別の問題（同和問題）を憲法で保障された基本的人権に関わる重要な社会問題であり、「国の責務であり、国民的課題である」とした「同和对策審議会答申」が出されました。このことから、大分県では毎年8月を『差別をなくす運動月間』と定めています。

2016（平成28）年12月16日より、『部落差別の解消の推進に関する法律』（部落差別解消法）が施行されています。この法律は、現在もなお解決に向けて取り組みなければならないほど部落差別が存在し、部落差別は許されないものであり、解消に向けて取り組みなければならぬことを明らかにしています。

国東市でも、部落差別の問題（同和問題）をはじめとするさまざまな人権問題の早期解決を目指すとともに、一人ひとりが、さまざまな人権問題に関する理解を深めるきっかけにしたい。そのため、期間中次の行事を行います。市民の皆様の参加をお待ちしています。

1. 期間中の主な活動

1. 「第28回差別をなくす仏の里のつどい」
（入場無料）

- ◆ 日時 8月20日（火）午後2時～4時
- ◆ 場所 アストくにさき アストホール
- ◆ 内容 講演会 講師 松村 智広さん
（みえ人権教育啓発研究会 代表）
演題 へこたれへん ～人はきつとつながれる～

※問合先 人権 同和对策課

☎097817210354

松村 智広さんのプロフィール



1957（昭和32）年、三重県伊賀市生まれ。大学卒業後三重県伊賀市内の中学校教員となる。その後、三重県人権センター調査研究員、（公財）反差別・人権研究所みえ主任研究員、三重県教育委員会人権教育課長、伊賀市立大山田中学校校長を勤め、2018年3月で定年退職。現在、ライトピアおおやまだ（隣保館）館長として勤務するかたわら、みえ人権教育・啓発研究会代表、三重県人権大学講師、いじめ問題相

談員をしている。この間大阪教育大学大学院へ同和教育で内地留学（森 実先生に師事）し、三重県同和問題啓発講師団講師、三重県生涯学習講師団講師、四国学院大学非常勤講師、部落解放・人権大学講師、三重県人権大学講師、三重県人権教育教材作成委員などを歴任。主な著書として、『同和』教育する人、この本とーまれ！、『明日（あした）かがやく』共著、『あした元気になあれ』、『続・あした元気になあれ』、『だまつてられへん』、『へこたれへん』があるほか、雑誌「部落解放」等にも多数の論文を投稿。同和問題啓発映画やテレビ、ビデオ等にも数多く出演。

2. 第13回国東市隣保館まつり

- ◆ 日時 8月24日（土）
午前10時～午後2時30分
- ◆ 場所 国東市隣保館（武蔵町古市）
- ◆ 内容 ①講演会 講師 宮崎 保さん
（ヒューマンバンド「熱と光」）
演題 ちよつと心を かしてくれませんか（仮題）
②隣保館教室の発表・展示、人権相談、出店、バザー、お茶席など

※問合先 国東市隣保館

☎097816811722

市長室から
こんにちは

市長日記

98

『痩せ細る砂浜』

国東市長 三河明史



今日は、5月21日。三日間降り続いた冷たい雨も未明に上がり、明るい朝になりました。でも外に出るとヒンヤリと肌寒く、上に薄いジャンパーを羽織ってウォーキングに出発しました。

雨に洗われた木々の葉は、朝日に美しく輝いて心が洗われるような早朝の気分です。今日の海は、中潮でしょうか、大潮でしょうか。美しい砂浜は、しっかりと締まって、歩くとキュッキュツと音がするようです。所々に、ワカメやヒジキの切れ端などが打ち上げられています。

そろそろアカウミガメの産卵監視体制を敷かねばなりません。穏やかに打ち寄せる波打ち際を歩いて行きますが、もちろん亀の気配はまだありません。美しい砂浜がどこまでも続いています。気になることがあります。それは、砂浜の幅です。護岸に近い草の生えている所から砂浜が40センチから50センチほど削り取られたように落ちています。昨年は、こんなことは無かったように思えます。そうであれば、1年で砂浜があんなに浸食されたのでしょうか。

私達が生かす頃の羽田海岸は、正に白砂青松はくしやせいしよ。大きな松が、海岸を通る国道に沿って松並木を形成し、木陰を作っていました。海水浴の時、この松の根元で服を脱ぎ、焼けた広い砂浜を「あちち、あちち」と全力で走り、海に飛び込んだのです。

でも、何時の頃か、砂がなくなるといので、テトラポットを海岸より少し沖の所に沈め始めました。この事業は、幾分かは成功したように思えました。しかし、よく見ると砂浜は、少しずつ少しずつ削られてきたのかもしれない。

海の汚れと細る砂浜は、深刻な環境問題につながっているように感じます。今年も亀たちは、卵を産みにこの海岸に来てくれるのでしょうか。

OITAえんむす部 出会いサポートセンターが「出張えんむす部」をはじめます

県が大分市内に設置した「OITAえんむす部 出会いサポートセンター」では、結婚を希望する若者を応援するため、会費制による1対1のお見合いを行っています。

7月下旬からは、県内5カ所を巡回する「出張えんむす部(予約制)」を開催。お住まいの近くで会員登録やお相手検索を行うことができるようになります。

詳細は、今後センターのホームページでご案内する予定です。

対象者 20歳以上概ね40歳代までの結婚を希望する独身の方で、大分県内にお住まいの方

入会登録料 10,000円/2年

会場・スケジュール

会場	実施日(いずれも日曜日の11時~17時)
くにさき総合文化センター・アストくにさき 1F 中会議室 ※来所の際は、ホームページから ご予約をお願いします	● 令和元年 8月25日(日)・9月29日(日)・11月10日(日)・12月8日(日) ● 令和2年 1月19日(日)・2月23日(日)・3月22日(日)

OITAえんむす部 出会いサポートセンター

〒879-0029 大分市高砂町2番50号 OASISひろば21(1階)

電話:097-578-7777 URL:oita-enmusubu.com

営業時間 平日・土曜日 13:00から20:00/日曜・祝日 11:00から18:00

※定休日 火曜・水曜

問合せ

おあいのご縁を応援!

